しゅうなん・文化財団
周南市美術博物館
郷土美術資料館・尾崎正章記念館
アート情報

Culture Information HANABATAKE
かるちゃあ通信
Art,Photo,History,etc.

花畠

2018(H30)Jan
1
No.273

発行　公益財団法人 周南市文化振興財団　山口県周南市徳山5854-41 (0834-22-8787) http://s-bunka.jp/top/
【美術博物館】山口県周南市花畠町10－16　(0834－22－8880) http://s-bunka.jp/bihaku/
【郷土美術資料館・尾崎正章記念館】山口県周南市富田永源（永源山公園内）(0834－62－3119) http://s-bunka.jp/kyoubi/

ファンタジーの王様

武井武雄展

KING OF FANTASY TAKEI TAKEO

1月5日(金)～2月18日(日)

月曜日休館、ただし1月8日、2月12日は開館、1月9日、2月13日は休館

【観覧料】一　般　1,000円(800円)
大学生　800円(600円) 18歳以下無料

（　）内は前売および20名以上の団体。
本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます。

財団会員ご招待（家族会員は一家族につき2枚）

「本の宝石」― 刊本作品

武井武雄自身が、文章、絵、企画、デザインまですべてを手がけた刊本作品は、1935(昭和10)年から1983(昭和58)年までの間、全139冊にのぼり、武井のライフワークとなりました。

多種多様な版画技法のもの、友禅染、寄せ木や麦わら細工、螺鈿、パピルスなど伝統工芸の職人とともに制作したもの、最新の印刷技術を駆使したものなど、一冊一冊に趣向を凝らし、斬新なアイデアとたゆまぬ探求心によって作られました。

原価の計算にはじまり、組版レイアウトやデザイン、製函について細かく記された制作ノートを見ると、本づくりへの武井の強いこだわりが感じられます。

総合芸術としての本づくり。それぞれの美しさから武井の刊本作品は、「本の宝石」とも呼ばれています。

毎年一冊ずつ、だんだんとペースをあげ、一年に8冊手がけた年もありました。

これらは、「刊本作品友の会」の会員限定に頒布されました。300名の定員で、空きを待つ「我慢会」さらに「超我慢会」なるものも作られるほどの人気ぶりだったといいます。

姫の尺牘(せきとく)【刊本作品No.27】

1955年
友禅染による作品。

木魂の伝記【刊本作品No.31】

1957年
寄せ木でつくられた作品。

人魚と嫦娥(じょうが)【刊本作品No.59】

1966年
紙に螺鈿が施されています。嫦娥とは月のことです。

当初は「豆本」と呼んでいましたが、42冊目からは「刊本作品」と名前をかえています。
武井は本全体を1つの作品ととらえていたのです。

湖のひと【刊本作品No.71】

1967年
ミラクルタワーという金の棒をマークの位置に立て、そこに写し出された像を鑑賞します。

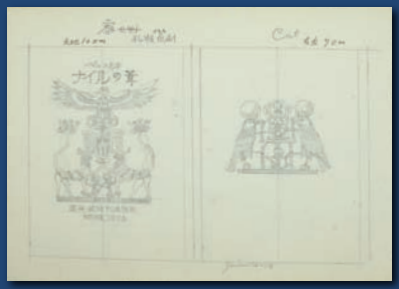
迅四郎の窓【刊本作品No.80】

1969年
旭化成のAPRという素材を黒のふちに重ねて使用したステンドグラス風の作品。

ナイルの葦【刊本作品No.108】

1980年
パピルスを栽培することから始め、4年半もの歳月をかけて制作されました。

制作ノート
武井による原価計算がされているページ。また別のページには、カットの下絵も描かれています。



作品はすべてイルフ童画館蔵

謹んで初春のお慶びを申し上げます

旧年中は、美術博物館の事業運営にご支援賜り、ありがとうございました。
本年も皆様に親しんでいただける施設をめざしてまいりたいと存じます。
変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

周南市美術博物館　名誉館長　宮崎　進
館長　有田　順一

武井武雄展のみどころ

展覧会では、童画、刊本作品、版画、余技作品の4つのテーマで、武井武雄の世界を紹介します。いずれのジャンルもそれぞれにファンがいると言われるほど、魅力いっぱいの作品群です。

作品はすべてイルフ童画館蔵

1. 童画

『コドモノクニ』、『チャイルドブック』、『キンダーブック』でおなじみの作品だけでなく、日本童画家協会展に出品するために描かれた作品も展示します。

「青の魔法」 1964年

「五人の楽師」 1977年

2. 刊本作品

前ページでも紹介した刊本作品。それらを納める本箱もつくられています。

3. 版画

今回の展覧会のチラシのあちこちにちりばめられた鳥たち。実は下の作品からとったものです。版画ですが、装飾的でデザイン性の高い作品です。武井は、1944(昭和19)年、恩地孝四郎に誘われて日本版画協会に入会しています。刊本作品の中でも版画は多くあり、いろいろな技法に挑戦しています。

「鳥の連作No.11」 1973年

「鳥の連作No.13」 1975年

4. 余技作品

武井は、おもちゃはこどもが絵本を見るより前、一番最初に親しむ大切なものと考えていました。全国の郷土玩具を集め研究していた武井は、時代にあったおもちゃ「イルフトイス」づくりをめざしました。イルフとは、古いを反対から読んだ「新しい」という意味の、武井の造語です。つまり、「イルフトイス」は「新しいおもちゃ」ということです。

イルフトイス(お馬車) 制作年不詳

イルフトイスデザイン画(お馬車) 1933年

武井武雄展グッズ 会期中限定販売!

子どもたちが喜ぶグッズから、郷愁を誘う昔懐かしいデザインのものまで、幅広く取り揃えています!
会期中限定の販売です。ぜひお求めください!

①幼児標準カルタ	¥3,024
②クロッキーブック	¥400
③ポストカード	¥162
④ガーゼハンカチ	¥648
★ラムラム王シリーズ★	
⑤マグネット	¥540
⑥キーホルダー	¥540
⑦ピンバッジ	¥700

他にもたくさんあります♪

※価格は全て税込みです。

武井武雄展 限定メニュー

ふわふわほうじ茶ラテ
500円(税込)

~武井武雄さんのサインRRRをあしらいました~

宮崎歯科
徳山動物園前・TEL(0834)31−7230
夜の8時まで診療
ただし土曜日は7時まで
(日・月・祝は休診)
歯の健康大切に!

美博(びはく)クイズ~!〈48〉 もんだい

美術博物館(びじゅつはくぶつかん)の1階にある喫茶(きっさ)「カフェテラスまど」。名前(なまえ)の由来(ゆらい)にはどんな意味(いみ)があるのかな?

こたえはどこかのページにあるよ。さがしてみよう!

周南市美術博物館
常設展示室

■常設観覧料：一 般 200円(160円)　大学生等 100円(80円)（ ）内は20名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料　※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
※「ファンタジーの王様　武井武雄展」の観覧券で常設展も無料(～2/18)
■休館日：月曜日、年末年始(12／29～1／3) ※ただし1／8(月・祝)は開館、翌9(火)休館

展示室4　林忠彦記念室

「茶室」

Ⅲ期：開催中～1／14(日)
Ⅳ期：1／16(火)～3／31(土)

1年をかけて紹介している、林忠彦の「茶室」。
Ⅲ期は、表千家の不審庵、裏千家の今日庵、武者小路千家の官休庵といった三千家の茶室をはじめ38点を展示しています。
続くⅣ期は、箱根の強羅公園、金沢の兼六園、東京の根津美術館や畠山美術館の茶室など各地の名席38点です。
「茶室」シリーズは、もともと雑誌「婦人画報」に7年間にわたり連載されたものです。建築写真では大型カメラを使って質感をリアルに表現することが多い中、林は茶室に座って感動した瞬間、スピーディーにシャッターを切るために、あえて小型カメラで挑戦したといいます。実際に茶室を訪れたかのような気分になれる作品群です。

Ⅲ期

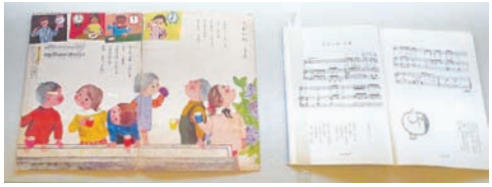
武者小路千家　官休庵　延段

Ⅳ期

箱根・強羅公園　不染庵　外観

展示室5　まど・みちおコーナー

現在の展示内容は、2／28(水)までです。



まど・みちおコーナーでは、3か月ごとに展示替えをしながら、まどさんの絵と文学資料をご覧いただいています。
今回、展示している『おかあさんと子どものための歌曲集　ごはんを　もぐもぐ』は、まどさんの詩に作曲家の磯部俶(いそべとし)が曲をつけた童謡をまとめたものです。
「はじめに」で「雑誌に発表した当時の原作に手を加えたものがあります」とまど自身が書いていますが、このように、最初に書いたものを改稿することは多かったようです。実際に掲載された雑誌と並べて展示しているので、どの部分のことばが変わっているのか、さがしてみてください。

徳山の歴史 特設コーナー

鳥羽・伏見の戦い

開催中～1／31(水)

今年は「維新150年」(元号が明治となってから150年)。幕末維新ゆかりの資料を紹介する第3弾です。
慶応4(1868)年1月3日に、京都の鳥羽・伏見において、薩摩・長州・土佐藩兵と旧幕府兵との間で戦いがはじまりました。この戦いを鳥羽・伏見の戦いといいます。この戦いに、徳山藩からは、十代の毛利元功が出陣しています。

「大功記大山崎之図」

2月28日(水)は、詩人まど・みちおさんの命日です。
毎年恒例のまどさんについてのおはなし会を開催します。

講　師：工藤　直子(詩人)
プロフィール：1935年台湾生まれ。お茶の水女子大学卒業。詩人、童話作家として活躍される一方、造形表現のほか舞台での朗読も行われています。まどさんのアンソロジー詩集『せんねん　まんねん』(童話屋　1990年)も手がけられました。

日　時：平成30年2月28日(水)
14：00～(1時間程度)
場　所：周南市美術博物館
ハイビジョンギャラリー
定　員：50名 ※電話申し込み・先着順

☆「まど・みちおさん　ありがとう」缶バッジのプレゼント
2月28日の来館者先着100名様に缶バッジをプレゼントします。

美博(びはく)クイズ～！〈48〉　こたえ

三方(さんぽう)を囲(かこ)む大(おお)きなガラス窓(まど)が特徴(とくちょう)で、池(いけ)に張(は)り出(だ)してテラス風(ふう)になっているので「カフェテラスまど」と命名(めいめい)されました。まど・みちおさんにちなんでいると思(おも)っていた方(かた)も多(おお)いのではないでしょうか？

日通の えころじこんぽ
お見積り無料。まずはお電話を！
0120-154022(ひっこし　は　にっつう)
www.nittsu.co.jp/hikkoshi/

ART and HISTORY インフォメーション

周南	周南市美術博物館 ☎0834-22-8880	■ファンタジーの王様　武井武雄展 1／5(金)～2／18(日)
	周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119	■小田善郎作品展～コドモドコ 尾崎正章常設展「赤の世界」 1／13(土)～3／11(日) ■富田東幼稚園 作品展 1／17(水)～28(日) ■富田東小学校 作品展 1／31(水)～2／12(月・休)
防府	毛利博物館 ☎0835-22-0001	■[企画展] 正月飾り ～1／28(日)
山口	山口県立山口博物館 ☎083-922-0294	■[テーマ展] 奇兵隊の軍服と袖印 ―奇兵隊士元森熊次郎資料― 1／5(金)～2／12(月・休)
	中原中也記念館 ☎083-932-6430	■[企画展Ⅱ] コミックのなかの中也 ～1／21(日)
萩	山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400	■[特別展]明治維新150年・萩陶芸家協会設立25周年記念展 茶陶の現在-2018萩 ～1／8(月・祝)
	萩博物館 ☎0838-25-6447	■[企画展]『萩の鉄道ことはじめ』 ～4／8(日)
長門	香月泰男美術館 ☎0837-43-2500	■[企画展] 香月泰男 画家の食卓 ～3／26(月)
下関	下関市立美術館 ☎083-245-4131	■[所蔵品展] 殿敷侃 ―僕は夜明けを信じた／画技競演 狩野芳崖・晴皐と長府藩御用絵師 1／5(金)～2／25(日)
	下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080	■[企画展] 戦国大名毛利元就 ―元就から元清・秀元へ― ～1／28(日)
島根	島根県立石見美術館 ☎0856-31-1860	■[企画展] エドワード・ゴーリーの優雅な秘密 ～2／5(月)
広島	広島県立美術館 ☎082-221-6246	■[特別展] くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合! 1／5(金)～2／12(月・休)
	広島市現代美術館 ☎082-264-1121	■[特別展] 交わるいと「あいだ」をひらく術として ～3／4(日)
	ひろしま美術館 ☎082-223-2530	■[特別展] 平木コレクション 生誕220年 歌川広重の世界展 1／3(水)～ 2／12(月・休)
	ふくやま草戸千軒ミュージアム ☎084-931-2513	■[早春の展示] 姫谷焼と福山藩内の近世陶磁器窯跡 1／19(金)～3／11(日)
福岡	北九州市立美術館・本館 ☎092-882-7777	■[企画展] 英国最大の巨匠ターナー風景の詩 ～2／4(日)
	北九州市立美術館・分館 ☎093-562-3215	■[企画展] ヴラマンク展 1／4(木)～2／25(日)
	福岡県立美術館 ☎092-715-3551	■[コレクション展Ⅲ] 美術館は動物園! ～1／28(日)
	福岡市博物館 ☎092-845-5011	■[特別展] 第29回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし 1／7(日)～ 2／12(月・休)

～永源山公園の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

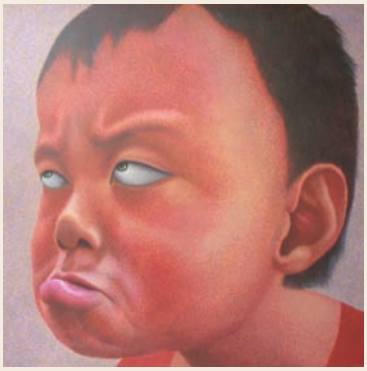
■9時30分～17時(入館は16時30分まで)
■観覧料：一般200円(160円) 学生100円(80円)
(　)内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
■休館日：月曜日 ※展示替えのため1/12(金)まで休館

「小田善郎作品展～コドモドコ」〈中・小展示室〉

1月13日(土)～3月11日(日)

小田氏はこれまで人物や風景をテーマに約30年間絵を描いてきました。「子どもと風景で構成された作品」や、2014年に山口県美術展覧会で大賞を受賞した「顔遊びシリーズ」、そして近作の「女の子や動物の作品」など、人を惹きつけて離さない世界がそこにあります。今注目される作家の作品をぜひご覧ください。

「顔遊び(a)」



「顔遊び(un)」

1/13(土) 作家による作品解説
9:30～(手話通訳付)
正午までは入場無料

2/3(土) ジャズライブ♪ 15:00～
演奏：吉田卓以カルテット&スージー
正午からは入場無料

3/3(土) 子ども芸術ワークショップVol.14「小田善郎とつくるコドモドコラージュ」
13:30～16:30(予定)
- 場所／周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館
- 講師／小田善郎氏(画家)
- 内容／自分の顔を写真に撮ってコラージュ作品を制作します。
- 対象／小学生、中学生
- 定員／10名
- 参加料／500円(材料費等)
- 申し込み方法／往復はがきに①住所、②氏名、③学校名・学年、④電話番号を明記の上、周南市美術博物館(〒745-0006　周南市花畠町10-16)までお送りください。希望者多数の場合は抽選となります。
- 締め切り／2月15日(木)必着

尾崎正章常設展「赤の世界」〈大展示室〉 同時開催

尾崎正章の色使いは、その時々で大きく変化しました。鮮やかな色、白、青そして赤。尾崎の色使いに注目し紹介してきた今年度。最後となる4回目は、赤を基調とした作品を展示します。

燈台の赤がとても印象的な「港（なかよし）」は、89歳の時に描かれました。観る人の心を惹きつけて離さない尾崎の赤からは、命のエネルギーが感じられます。

「港（なかよし）」2001年　油彩・キャンバス

ミニコラム ガス燈

昨年の十月からこちらの美術館で働き始めました。初めてする仕事に戸惑いはありますが、作者の意外な一面を知ることができたり、チラシや図録が完成していく様子を見ることができたり、いままで考えたこともなかった美術館の裏側を見ることができてとても楽しいです。

一月五日から始まる「ファンタジーの王様 武井武雄展」は私の中では初めての大きな企画展で期待に胸を膨らませています。

この展覧会の準備をしている際にふと気づいたことがあります。常設展示のまど・みちおさんの作品はクレヨンや水彩など身近なもので描かれているのが特徴ですが、今回展示される武井武雄さんの作品の中にも、クレヨンや水彩で描かれている作品があるということです。身近な画材で描かれた両者の作品からは、絵が与える印象は異なるものの、作者のこだわりや独特の温かみがあります。

日本童画の先駆者、武井武雄さん、日本を代表する詩人まど・みちおさん。日本のこどものために創作を行った二人の作品を実際に見てみることで新たな発見をすることができるかも知れません。

また、美術館で働く楽しみは仕事だけではありません。休憩時間などでショップの商品をチェックすることも一つの楽しみです。色とりどりの小物やお干菓子が立ち並んでおり、見ているとついつい買ってしまいます。

普段も図録や心が和むかわいらしいグッズが並んでいるのですが、期間中は展覧会ならではの商品が陳列されます。武井武雄さんの世界観に染まったショップがどのようになるのか、楽しみにしています。

「ファンタジーの王様 武井武雄展」、期間中に立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

（森岡）